

# 四国運輸局によるDMO支援事業 横展開マニュアル

## 目次

---

### 1、一般社団法人 美馬観光ビューローについて

①DMOの基礎データ

---

②ありたい姿

---

③課題

---

④目標設計と課題解決

---

### 2、一般社団法人 小豆島観光協会について

①DMOの基礎データ

---

②ありたい姿

---

③課題

---

④目標設計と課題解決

---

# ①DMOの基礎データ

## 1 名称・区分

- 一般社団法人 美馬観光ビューロー
- 地域DMO

## 2 創立年月日、職員数

- 平成30年2月8日
- 12名

## 3 マネジメントエリア

- 徳島県美馬市

## 4 観光資源

- うだつの町並み（江戸期の商家建築が並ぶ歴史地区。豪華なうだつが特徴で、歴史と文化を感じる散策が楽しめる）
- 吉田家住宅（脇町うだつの町並みに残る代表的商家建築。当時の暮らしや伝統技法を学べる貴重な文化財）
- にし阿波花火大会（西日本最大約20,000発以上の花火が打ち上げられる全国花火競技大会）
- 穴吹川（美馬市の豊かな自然を象徴するスポットであり、エコツーリズムや体験型観光の拠点）
- 世界農業遺産 湊名集落（棚田の景観や季節ごとの農作業体験など、観光客にとっても特別な体験型コンテンツを提供）
- 剣山（四国を代表する山岳観光地）

## ② ありたい姿（合意形成のプロセス、メンバー）

### ■合意形成プロセス、メンバー

- ・事務局とDMO間での事前会議および初回キックオフで方針決定
- ・報告会や定例会議の場で、進捗確認とリプラン実施
- ・地域事業者等が参加するマーケティング戦略会議の実施

## ③ 課題（課題抽出、分析の手法）

### ■インバウンド観光客の現状とニーズを把握するWEB調査を実施

- ・調査対象：香港、アメリカ在住の方（居住年数3年未満の人を除外）および、直近1年以内の訪日かつ徳島県の認知者を対象
- ・調査設問：計15問（情報チャネル、美馬市内のスポットの認知度、うだつの町並みへの興味度等）

### ■調査結果を元に、事務局でデータ分析、性年代や年収等の複数の軸でも比較分析し課題抽出

## ④ 目標設計と課題解決（設計手法、課題解決のためのToDo、体制）

### ■調査結果報告および課題解決のToDo決め

- ・調査報告会にて事務局より結果に基づく課題の共有および目標設計の助言  
主にインバウンド向けSNS活用等の課題解決に向けた助言
- ・SNS活用においては、国・広域・狭域同士の情報共有のフローおよび共通ガイドラインが必要である  
またメンションやタグにより地域や一般ユーザー写真素材の活用することで導線強化が期待できる
- ・定番性、季節性、新規性によるSNS発信のテーマカレンダーの運用も必要である

### ■マーケティング戦略会議の実施

- ・参加者：県民局、美馬市、地域連携DMO、地域事業者、事務局
- ・協議内容：調査結果を踏まえたターゲット設定、上記を踏まえたInstagram等のSNS活用の方向性決定

## ① DMOの基礎データ

### 1 名称・区分

- 一般社団法人 小豆島観光協会
- 地域連携DMO

### 2 創立年月日、職員数

- 1960年1月13日
- 10名

### 3 マネジメントエリア

- 香川県小豆郡土庄町
- 香川県小豆郡小豆島町

### 4 観光資源

- エンジェルロード（干潮時にだけ現れる神秘的な砂の道。恋人の聖地としても有名で多くの観光客が来訪）
- 道の駅小豆島オリーブ公園（小豆島特産オリーブをテーマにした人気施設。ギリシャ風風車などSNS映えスポットが点在）
- 中山千枚田（島内最大級の棚田群が広がる風景。季節ごとに異なる絶景が楽しめる）
- 寒霞溪（奇岩と渓谷美が魅力の景勝地。ロープウェイから眺める四季折々の絶景が人気）
- 醤の郷（醤油や佃煮の老舗が集まる地区。伝統的な醸造文化と町並みが見どころ）
- 二十四の瞳映画村（名作映画の世界を再現したロケセット。昭和レトロな風景が人気のスポット）
- 碁石山（古代から信仰の対象とされた山。石造物や遺跡が点在）
- 大阪城残石記念公園（大阪城築城に使われた石の切り出し跡を保存。壮大な石の歴史を体感できる）
- 肥土山農村歌舞伎舞台（江戸期から続く農村歌舞伎の舞台。地元住民による伝統芸能の継承）
- 瀬戸内国際芸術祭作品（島々を舞台に多彩なアートが点在。地域の風景と融合した作品群が国内外で高評価）
- 妖怪美術館（古民家を活用したユニークな美術館。妖怪文化と現代アートが融合し、非日常体験を提供）

## ② ありたい姿（合意形成のプロセス、メンバー）

- 観光により持続できる島を目指す（持続可能な島づくり）
  - ・インバウンド観光客の誘客に向けた必要となる現状把握の実施
- 合意形成プロセス、メンバー
  - ・事務局とDMO間での事前会議および初回キックオフで方針決め
  - ・報告会や定例報告の場で、進捗の共有とリプラン実施

## ③ 課題（課題抽出、分析の手法）

- インバウンド観光客の現状を把握するWEB調査を実施
  - ・調査対象：高松空港に直行便がある3エリア（台湾、香港、韓国）、直近3年以内の訪日かつ中四国エリア来訪者
  - ・調査設問：15問（訪日旅行についての重視ポイント、小豆島の認知度、興味度、来訪意向度等）
- 調査結果の分析（性年代、グループサイズ等の複数区分で比較）とレポート化し報告

## ④ 目標設計と課題解決（設計手法、課題解決のためのToDo、体制）

- 調査結果報告および課題解決のToDo決め
  - ・調査報告会にて結果に基づく課題の共有および目標設計
  - ・インバウンド誘客に向けたアプローチ化についての助言
  - ・事務局とDMO間での定期打ち合わせの実施
- 旅行消費額調査の枠組み作りについての助言等の実施
  - 消費額調査においては、来訪者へのアンケート調査を実施想定（下記参照）
- ①旅行消費額の設問設計(宿泊費、交通費、食費等、各項目ごとの消費額を設問設計)
- ②訪日外国人観光客向けへは、ChatGPTも用いて翻訳を実施
- ③アンケートフォームを二次元コード化し、回答結果をリアルタイムで集計。年4回の期間に区切って実施
- ④ポストカードおよびポスター化しプレゼントキャンペーン実施。港などの出口箇所等に設置依頼、回答促進
- ⑤アンケート結果の集計・分析収集したデータを集計・分析し、年代別等の消費額を可視化